

## 牧場直営のジェラート店で人を呼び、地域貢献を目指す

おといねっぶむら  
名徳牧場(音威子府村)

## 【組織等の概要】

- 代表者: 名徳 知記(みょうとく とものり)
- 就農年: 平成29年
- ジェラート店開業年: 令和5年
- 飼養頭数: 経産牛31頭、育成牛10頭
- 経営面積: 放牧地20ha、採草地60ha
- 牧場HP: <https://myotokufarm.mystrikingly.com/>
- ジェラート店HP: <https://gelateriathegreengrass.com/>

## ◇【取組の経緯と概要】

- ◆ 大阪府出身。子どもの頃に家族旅行で道東を訪れた際に見た放牧酪農の景色に憧れ、酪農家を志す。
- ◆ 北海道の大学へ進学し、在学中に道内の就農地を探していた際に、音威子府村が27年ぶりに新規就農者を募集すると聞き、役場を訪ねたところ、村長や議長が歓迎してくれた。当時は貯金も実務経験もなかったが、牧場のオーナーになることが夢だと伝えると、全面的に支援すると言ってくれた。音威子府村で就農することを決意。平成27年に音威子府村へ移住し、2年間研修を受け平成29年に第三者継承で就農。
- ◆ 憧れであった放牧酪農を行っている。村内で1軒になってしまった酪農を残していくために、自牧場の草で牛を育て、牛の糞を堆肥化して牧草地へ還元し、その堆肥で牧草が育つ循環型農業に取り組む。
- ◆ 自分の牧場の生乳を使った加工品を作りたいと思い、令和5年にジェラート店「Gelateria the GreenGrass」を音威子府村で開業。ジェラートに合う生乳になるよう作付する牧草の種類やバランスにもこだわっている。
- ◆ ジェラート店の店舗やパッケージ等は絵本作家のすず村さおりさん(札幌市在住)がデザインしている。
- ◆ ジェラートについては、国内で行われる講習会に参加するほか、専門書を読んで研究したり、年に1回イタリアへ行き現地のトレンドを学んでいる。

## 【活用した支援施策】

- 青年就農給付金(準備型)

## 【取り組む際に生じた課題と対応方法】

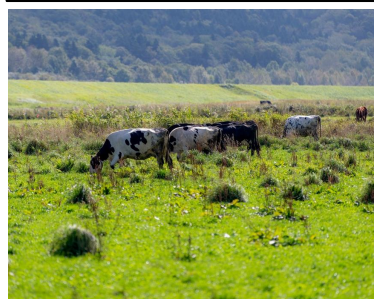
- 放牧酪農に取り組めるだけの十分な土地がなかった。  
→ 村内の農家から譲ってもらい、飛び地は採草地にし、自宅の周りを放牧地にした。

## 【取組の成果】

- 就農して6年で6次産業化を実現。
- ジェラート店を通年営業し、大晦日には深夜営業をするなどの目立つ取組をすることで、ジェラート店を目的に音威子府村を訪れる人が増えた。

## 【今後の展望】

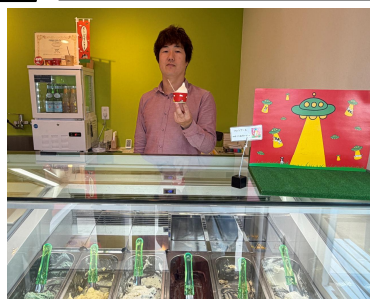
- 就農を受け入れ、助けてくれた音威子府村に貢献したいという思いがあり、ジェラート店を目的に音威子府村を訪れる人を更に増やして、村の経済活動を活性化させたい。
- 何度も来店してもらえるよう新しいレシピの考案にも力を入れたい。



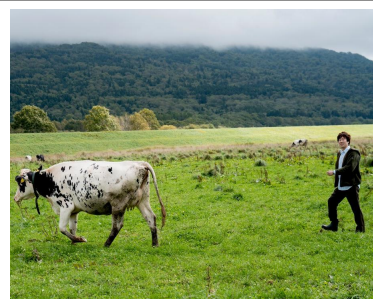
放牧酪農の様子



ジェラート製造の様子



ジェラート店の様子



牛と名徳さん